

ライトアップの時には、アイスキャンドル・アイスハーバリウムを作り出す幻想的な空間を町民の皆さんに楽しんでもらえるのを期待していましたが、残念ながら1月下旬に新型コロナウイルス感染症の急増に伴うまん延防止等重点措置が発令されたため、例年のように大勢で集まることはできませんでした。そのため、2月上旬に規模を小さく



↑アイスハーバリウムづくりの様子

北海道の冷え込む冬の夜にきらめくアイスキャンドルの美しさは、冬の魅力の一つで、道内のさまざまな市町村でキャンドルナイトが行われています。雄武町も、例年2月初旬にキャンドルナイトを開催しており、今年も1月からキャンドルナイトの準備に取り組んできました。今回は、アイスキャンドルと並行して、水に花や貝殻を入れて凍らせて作るアイスハーバリウムを児童センターで子どもたちに作り方を教えながら作りました。



地域おこし協力隊 観光支援員
タオさん

Activity Report

地域おこし協力隊 ～活動レポート～

※地域おこし協力隊がこのコーナーを順番に担当しています。お楽しみに

春が訪れ、暖かくなりますが、季節の変わり目ですので、感染症や健康にご注意ください。

子どもたちは「わあー、きれい！」と大声で喜び、自分の作ったアイスハーバリウムを探して楽しんでいました。そして、アイスキャンドルの無料配布を観光協会の SNS で呼びかけたところ、町民の皆さんから多数の反応があり、各家庭でライトアップしてもらったことができて、私にとってもいい思い出になりました。

神戸市に住んでいる友達にライトアップしたアイスキャンドルの写真を送ると、「アイスキャンドルをまだ見たことがありません。こんな綺麗なものを見れるなんてうらやましいです」「気持ちがいい感じが良かったです」と喜んでくれました。このような活動を実際に体験することができて良かったと思います。

* SNS : スマホやパソコンを使ったインターネット上のコミュニケーションサービスの総称

Kids

わんぱくキッズ (子育て支援センター)



かめだ
おとは ちゃん



ふるやま
あきとくん



Everyone's infirmary

みんなの保健室



発達障がいとは？

●「発達障がい」とは

生まれつきの脳のはたらき方の違いにより、行動面や情緒面に特性がみられ、本人や周囲の人に困りごとが生じている状態です。

発達障がいは、「自閉スペクトラム症」「ADHD」など様々な名前で分類されていますが、特性の現れ方は多様で、障がい名がその人を表すものではありません。

すべての人が一人ひとり違う脳のはたらき方をもっているからこそ、豊かな個性（多様性）が生まれます。



●個性なので放っておいても何とかなる？

生まれもった個性は変わることがありません。

変えるべきなのは環境です。

「家では困らないけれど、保育所や学校では困っているようだ」、「大人になって環境が変わったら困りごとが出てきた」など、その人自体は同じでも、環境によってうまくいく場合もあれば、困りごとが生じる場合もあります。

一人ひとりがかかげがえのない個性を「治す」「なくす」のではなく、日常生活や学校・職場の環境や過ごし方を工夫することで、持っている力を活かしたり、日常生活の困りごとを軽減させたりすることが大切です。

●発達障がいかも？と思ったら

総合相談窓口：母子健康包括支援センター『ぷちさぽ』(84-2023) までお気軽にご相談ください。

どのようなことに困っているのかを伺い、どんなふうに生活すれば良いかを一緒に考えます。状況に応じて、医療や検査、専門相談につなぎ、保育所や学校、職場と連携してサポート環境を整えるお手伝いをします。



問健康推進課保健係